

令和 5 年度 学校評価シート

学校名： 南紀高等学校（定時制課程）

校長名： 坂本 真理

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

- ・生徒が誇りを持ち、地域に信頼され愛される学校
- ・社会に必要なコミュニケーション力や基礎学力を身に付け、粘り強く取り組む力や公平な批判力を持つ生徒
- ・今の自分や将来の自分を大切にしたいと思える自己肯定感を持ち変化の激しい環境をしなやかに強く生き抜く生徒
- ・社会に参画し地域の担い手になろうとする生徒

学校評価の公表方法

学校運営協議会において分析と説明をし、指導助言をいただくとともに、教育振興会においても評価結果を報告し、ホームページに公表する。

現状・進捗度	A	十分に達成している。（80%以上）
	B	概ね達成している。（60%以上）
	C	あまり十分でない。（40%以上）
	D	不十分である。（40%未満）

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組			評価（〇月〇日現在）			
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	人間力の育成	B	自己有用感・肯定感向上のため、SC、SSWと連携したソーシャルスキルトレーニングを行う。	実態把握や行動観察を基盤とした対象生徒における成長の促進			
			社会の形成者としての自覚を高めるため、学校の特色を生かした教育課程の工夫に取り組む。	各部会・委員会等での検討を基にした教職員の協働性の向上			
			生徒のコミュニケーション力向上のための情報リテラシーに関するLHR、教職員を対象とした校内研修・現職教育の充実を図る。	特別活動部・生徒支援委員会を中心に、LHRの計画・各種研修の実施			
2	学力の向上	B	基礎学力向上のため、各種支援事業を活用するとともに、授業形態等の工夫から生徒の個別課題に対応する。	・出席状況と学習定着度 ・補習授業の実施 ・TTや習熟度別授業の実施			
			ICT機器、視聴覚教材及び実験実習等を活用し、魅力ある授業・楽しい授業・思考を巡らせる授業を展開して、分かりやすい授業の実践を目指す。	・研究授業、参観授業の実施 ・ICT機器の活用、ICTを活用した授業の実践			
			学習指導要領に基づく、個別の知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等を育成する。	・振り返り学習の実施 ・主体的・対話的で深い学びを実現するための学習活動の実践			
3	自律性・社会性の涵養	B	普通の授業や学校行事等を活用し、規範意識の向上に努める。	集団行動を伴う行事展開の多用や拡大			
			外部人材を活用し、職業観や社会性の向上を図る。	地域人材やOB等による講師招聘と活用			
			地域社会との連携を強化し、包括的な社会性の育成を目指す。	連絡を密にした情報の共有と実践の蓄積			

学校関係者評価（〇月〇日実施）

--